

平成29年9月定例会市議会市政報告

平成29年第4回釧路市議会9月定例会の開会にあたり、6月定例会市議会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

最初の報告は「JR北海道単独で維持困難な線区への対応」についてであります。

釧路地方総合開発促進期成会に設置いたしました「JR花咲線・釧網線対策特別委員会」では、去る7月4日に第3回特別委員会を開催し、JR北海道より鉄道外収入を含めた経営状況などについてご説明をいただいたほか、株式会社道銀地域総合研究所より「釧網線・花咲線の観光路線としての可能性」と題してご講演をいただき、観光面での鉄道の利用促進について意見交換を行ったところであります。

7月24日には、オホーツク圏活性化期成会「釧網本線部会」との第2回意見交換会を開催し、本年度中における合同部会の設置のほか、来年度中に路線存続に向けた方策案を策定することなどについて合意がなされたところであります。

また、8月24日には、根室地方総合開発期成会「JR根室本線花咲線対策特別委員会」との初めての意見交換会を開催し、北方領土隣接地域と道央圏を結ぶ唯一の鉄道である花咲線の重要性と、路線存続に向け両地域が一体となって取り組んでいくことが確認されたところであります。

釧路、根室、オホーツクの各地域が「各路線を存続させる」という目的を共有しているところであり、今後も連携を密にしながら取り組んでまいりたいと考えております。

報告の第二は、「ベトナム訪問」についてであります。

市では、釧路コールマインの研修事業をはじめとしたベトナムとの交流を進めていることから、北海道が主催する「ベトナム・北海道ミッション」に参加するとともに、市が進めているさまざまな取組への協力を求めるため、去る8月6日から8月11日の日程でベトナムを訪問いたしました。

最初の訪問地であるハノイ市では、高橋北海道知事をはじめとする、北海道訪問団の一員としてベトナム石炭鉱物工業グループ（ビナコミン）を訪問し、研修事業の継続に向けて協力をお願いしてまいりました。

また、市では去る7月7日に2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における、ベトナムを相手国とするホストタウンに登録されたことから、政府機関である文化スポーツ観光省スポーツ総局及びオリンピック委員会を訪問し、オリンピック・パラリンピック大会に向けた事前合宿の実施、大会後の文化やスポーツ分野での交流について要請してまいりました。

次のホーチミン市では、北海道が主催する「北海道プロモーションinホーチミン・シティ」に参加し、私からは、釧路の食、観光、産業に関するプレゼンテーションを行うとともに、その後の交流会では、市から、イクラ、昆布製品などの食材を提供するなど、観光や物産のPRを行ってまいりました。

最終訪問地であるダナン市では、「JICA草の根技術協力事業」により、当地域の衛生・品質管理技術の導入を進めていることから、栗林釧路商工会議所会頭とともに、事業継続への協力を要請してまいりました。

今後とも当市とベトナムとの友好関係を継続し、経済や文化、人的交流などを、さまざまな形で進めてまいりたいと考えております。

報告の第三は、「釧路湿原国立公園指定30周年記念シンポジウム」についてであります。

釧路湿原国立公園につきましては、昭和62年に国立公園として指定され、本年で30周年を迎えることから、去る7月31日に環境省と釧路湿原国立公園指定30周年記念事業実行委員会の共催で記念式典とシンポジウムを開催いたしました。

シンポジウムでは、今年度、環境保全調査などで外務大臣表彰を受けられた釧路国際ウエットランドセンターの新庄技術委員長より「地域の人々と釧路湿原のあゆみ」についてご講演をいただいたほか、パネルディスカッションでは、地域が誇る資源をどのように守り、どのように生かし続けるかについて、活発な討論が行われました。

市といたしましては、今後も環境省や関係自治体と連携を図りながら、地域の宝である釧路湿原の保全と利用について、不断の努力を積み重ねるとともに、国内外に釧路湿原の魅力さをさらにPRしてまいりたいと考えております。

報告の第四は、「阿寒摩周国立公園への名称変更」についてであります。

阿寒国立公園の名称変更につきましては、地域ブランド力向上や国内外への発信強化など様々な観点から、釧路市と弟子屈町はじめ、関係自治体の総意のもと、環境省に要望をしていたところであります。

このたび、地域を挙げた要望活動が実り、去る8月8日に正式に「阿寒国立公園」から「阿寒摩周国立公園」へと名称が変更されました。

今後は、世界で唯一、球状マリモが生息する「阿寒湖」に、世界トップクラスの透明度を誇る「摩周湖」のネーミングが加わることにより、地域のブランド力向上とさらなる観光振興につながるものと期待しております。

報告の第五は、「**観光大使の任命**」についてであります。

釧路市観光大使は、釧路市の知名度及びイメージの向上を図り、本市の観光振興に寄与して頂くことを目的に、これまで5組の観光大使を任命してきております。

このたび、釧路の美しい自然の魅力を伝える曲を多くの場面で披露し、日本と台湾において幅広く活躍されております、シンガーソングライターの真氣さんを、去る8月29日に6組目の観光大使として任命させていただきました。

観光大使の皆様には、今後ともそれぞれのご活動を通じて、一層の情報発信と観光PRに努めて頂けるものと期待しております。

報告の第六は、『**第70回くしろ港まつりの開催**』についてであります。

今年も、釧路の街を盛り上げる、さまざまなお祭りやイベントが開催され、台風の影響が心配された「釧路大漁どんぱく」も、先日、盛況のうちに終了いたしました。

参加いただいた大勢の市民の皆様や関係団体の皆様に改めて感謝と御礼を申し上げます。

その中でも、本年、70回という記念すべき年にあたる「くしろ港まつり」が、去る8月4日から6日までの3日間にわたり開催されました。

今年は、大漁ばやしパレード、市民踊りパレード、音楽パレードの3大パレードや舟漕ぎ大会などに加え、スペシャルパレードとして東京ディズニーリゾートのミッキーマウスをはじめとするディズニーの仲間たちとともに地元のキッズダンサーなどが北大通をパレードいたしました。

当日は、北大通の車道の一部を観客スペースとして対応し、釧路市内、釧路管内はもとより、道内各地から約7万人が訪れ、釧路駅前から幣舞橋までの中心街を埋め尽くすほどの賑わいをみせました。

報告の第七は、『**釧路市民球場のリニューアルオープン**』についてであります。

釧路市民球場につきましては、平成26年から改修工事を進め、去る7月22日に供用を開始いたしました。

釧路市民球場のリニューアルオープン記念といたしまして、地元小・中・高校生による記念試合が実施されたほか、7月25日には北海道日本ハムファイターズの一軍公式戦が8年ぶりに開催され、超満員の観衆から熱い声援が送られたところであります。

また、亜細亜大学硬式野球部の釧路合宿が8年連続で実施され、今年の合宿ではタンチョウ・リーグ in 釧路として、福岡ソフトバンクホークスをはじめ、日本を代表する強豪チームが参加したリーグ戦が開催されました。

このリニューアルされた釧路市民球場の完成により、今後、地域の野球競技のさらなる普及振興や交流人口の拡大に期待をしております。

報告の第八は、「**工事発注状況**」についてであります。

本年度の建設事業の発注予定額は、約 138 億 5,000 万円となっており、8月31日現在における発注済額は約 61 億 7,000 万円であり、発注率は、44.5%となっております。

このうち、地元企業への発注は、金額で約 58 億 4,000 万円、率では約 94.6%となっております。

主な建設事業別の発注率につきましては、道路事業が約 63%、上水道事業で約 17%、下水道事業で約 70%、住宅建設事業は約 95%の状況となっております。

今後とも地域経済の動向を念頭に置き、工事の早期発注に努めてまいります。

以上で、市政報告を終わります。